



平成28年度 山県市教育センター要覧

子どもにとっての学び

山県市教育センター所長 早川 剛

小学校3年生算数の教科書に、次の問題があります。

ジュースが0.5L入っているパックと、
0.3L入っているパックがあります。
1つのびんに入れると、
何Lになるでしょう。



次の時間には子どもたちは、下の問題で小数の加減についての計算原理を学び、その技能を身に付けていくこととなります。

牛にゆうがパックに0.6Lありました。
ケーキを作るのに、0.2L使いました。
パックの中の牛にゆうは、
何Lになったでしょう。



この2つの問題は一見大差なく、大人の視点からすると「たし算」と「ひき算」の違いはあるものの、問題の難易度としては同等であるかのように考えてしまいます。しかし、学びを進める子どもにとってはどうでしょうか？

最初の時間に、小数でもたし算ができる（小数もたし算をしてよい、「0.1」をもとにして考えれば、整数のたし算と同じようにできる）ことを学んだ子どもにとって、次の時間にはどのような学習活動を行えば、学びの楽しさを体得することになるのでしょうか？

『小数のひき算も小数のたし算と同じように、「0.1」のいくつ分で考えればいいんだ。・・・それを自分たちで発見できた。』こんな意識で子どもたちが授業を終える、これこそが私たちが願う子どもの姿だと思います。ひき算の授業の導入でも「分かることは何ですか？」「聞いていることは？」「式はどうなりますか？」と、また同じ発問を繰り返しては、そのことに時間をとられてしまいます。結局「自分たちの力で、考え方を見つけることができた」……そんな喜びを実感することはできないと思いませんか。

世の中では今「A・L（アクティブ・ラーニング）を・・・」との言葉が聞こえ始めてきました。しかし、子どもを育てる私たちは、言葉のみが先行していることに決して惑わされることなく、常に子どもの側に立ち、「学習内容を自ら獲得する学びのプロセス」を明らかにすることこそが最大の使命だと思います。

- 教材の魅力は何か？ →教える側がその魅力を明らかにしてみましょう！
- 教材の魅力が子どもが感じ、身に付けるべき内容を獲得するためには、どのように教材に出会わせ、獲得させていくか、そのプロセスを授業でどのように具現するか？ →教える側がイメージをもちましょう！
- 教材の魅力や学ぶべきプロセスを、主たる学習教材である教科書ではいかに扱われているか、表現されているか？ →教える側が、読み込んでみましょう！

平成28年度 山県市教育センター事業

I 研 修

1 基本研修

| | 名 称 | 内 容 | 対 象 | 月 日 |
|----|-------------------|--|--------------------------|---------------------------------------|
| 1 | 初任者教員研修会 | 新規採用教員として必要とされる基本的事項の研修を行う。 | 新規採用教員 | 6/ 2 8/?? 10/?? 1/18 |
| 2 | 2年目研修会 | 採用2年目の教員が互いの実践を交流したり課題を追求したりすることを通して、一層の資質向上を図る。 | 採用2年目の教員 | 5/25 11/4 →10/ 6 |
| 3 | 2・3・6年目合同研修会 | 教職1校目・2校目の教員が実践交流をし、今後の教員としてのあり方を考える。 | 採用2・3・6年目の教員 | 5/25 |
| 4 | 新赴任者研修会 | 山県市に初めて赴任する教職員が、市全般について学び教育に生かす。 | 新赴任者 | 4/ 4 6/ 1 |
| 5 | 学習支援員・教育サポーター研修会 | 児童生徒への具体的な支援のあり方や、支援者としての資質向上を図る研修をする。 | 学習支援員 教育サポーター | 4/13 10/6 →7/2? 2/ 2 |
| 6 | 図書館主任 読書指導員研修会 | 図書館主任・読書指導員としての職務及び読書指導の研修をする。 *第2・3回目は、読書指導員のみが参加。 | 図書館主任 読書指導員 | 6/15 7/2? 2/16 |
| 7 | 講師研修会 | 児童生徒理解や学習指導等に関する基礎的・基本的な知識や技能を習得する。2年目研と合同 | 講師 | 7/26 11/4 →10/6 (随時) |
| 8 | 剣道実技講習会 | 中学校における武道(剣道)指導の基礎と実技を学ぶ。 *小学校教員の希望参加も可 | 中学校体育科指導教員等 (含:参加希望者) | 8/ 8 |
| 9 | 教科研究会 各種研究会 | 各教科、道徳、特別活動、特別支援教育等の授業研究などの研修をする。 | 全教職員 | 4/28 6/20 8/9(教科毎) 10/20 |
| 10 | 学校人権教育研修会 | 一人ひとりの人権が尊重される学校を目指して、人権感覚の醸成を図る研修をする。 | 全教職員 | 8/24 |
| 11 | 特別支援コーディネーター研修会 | 特別支援コーディネーターの資質の向上を図る研修をする。 | 特別支援コーディネーター | 6/17 2/ 9 |
| 12 | 服務研修 | 教育公務員としての 服務における課題について研修する。 | 全教職員 | 教職員研修会 2/24 他随時 |
| 13 | 給食調理員研修会 | 給食調理員としての資質や技能の向上を図る研修をする。 | 給食調理員 | 4/ 4 8/10 |

2 自己啓発研修

| | 名 称 | 内 容 | 対 象 | 月 日 |
|----|------------|--------------------------------|------------|-------------------|
| 21 | 夏期講座『つなぎ塾』 | 今日的な課題を解決する知識や技能を身に付け、指導力を高める。 | 教職員希望者 | 7/28 7/29 8/ 1 |
| 22 | 学校管理運営研修会 | 学校管理運営や管理職のあり方等について研修する。 | リーダー的立場の教員 | 10/ 4 |

| | 名 称 | 内 容 | 対 象 | 月 日 |
|----|--------------|--------------------------------------|--------|-----|
| 23 | 学校づくりコンサルタント | 学校が希望する指導者を講師として招き、学校経営の助言を受ける。 | 各校管理職 | 希望日 |
| 24 | サークル研修会 | 年間にわたって、教科等の指導力を高める。 | 教職員希望者 | 随時 |
| 25 | ネットワーク研修会 | テラステーションを活用し、研究の情報や内容を交流・共有し、研修を深める。 | 教職員 | 随時 |



調査・研究

| | 名 称 | 内 容 | 対 象 | 月 日 |
|----|----------------------|--|----------|-------------------------|
| 31 | つなぎ塾 (教科等指導員) | 校内研究等で指導・助言にあたる。 夏期講座においては、教科等研修の講師となる。 | 指導員 | 夏休み他随時 |
| 32 | つなぎ塾 (得意分野等指導員) | 市内教職員のニーズに応じて、得意とする内容や技術を伝授する。 | 指導員 | 夏休み他随時 |
| 33 | 教育の進化を求めて (教育懇談会) | 市の学校教育に関する幅広い意見や提言をいただく。 | 市民代表研究員 | 11/30 |
| 34 | スタートカリキュラム 実践交流会 | 小学校生活スタート時の具体的な指導法を交流し合う。 | 小1担任全員 | 5/13 |
| 35 | 小中連携研究会 | 小中学校で取り組む指導内容を相互に理解し充実する。 | 教職員 | 随 時 |
| 36 | 教育実践論文・実践記録 自作教具 | 教育実践論文・実践記録・自作教具の募集を行い、主体的な研究実践の奨励をする。 | 教職員 | 1/16 (1・2次審査) |
| 37 | 学力向上推進会議 | 各校の学力定着等の取り組み状況の交流・検討を通して、基礎学力の向上を図る。 | 学力向上推進教師 | 4/20 2/22 |
| 38 | 情報教育推進委員会 | 情報教育の推進及び充実により、教育情報の有効な活用や教育活動の質的改善を図る。 | 推進委員 | 5/?? 2/?? |
| 39 | 社会科副教材作成委員会 | ふるさと教育や授業に資するよう、教科書の内容にあわせ市の文化・自然・社会の教材化を図る。 | 作成委員 | 5/19 8/25 11/ 1 2/ 2 |



情報収集・発信

| | | |
|----|-----------------|-------------------------|
| 41 | 教育センター要覧の発行 | センター事業の方針や内容 |
| 42 | 図書、月刊誌、研修冊子、指導案 | センター図書として蔵書 |
| 43 | テラステーション | 市教研、校内研の授業案、社会科副教材等のデータ |
| 44 | 教育センターだより「いしずえ」 | センター関連記事の掲載 |
| 45 | なんでも相談コーナー | 教育関連の相談事 |
| 46 | 図書貸出 | 各学校で共通活用できる図書の貸出 |



教育相談

1 適応指導

趣 旨 不登校の児童生徒に対し指導・援助を行い、自立を支援することによって、学校生活への復帰を図る。

① 生活指導員による支援

教 室 コスモス教室 山県市教育センター内 TEL：52-1571

日 時 月曜日～金曜日 午前9時～午後3時30分（基本）

② 教育相談員による支援

各学校の実態に応じ教育相談員を派遣し教育支援を行う。

2 電話相談

趣 旨 学校教育にかかわる不安や悩みなどの相談に対応し、適切な支援を行う。

窓 口 教育センター「コスモス」 TEL：52-1571

日 時 月曜日～金曜日 午前9時～午後3時30分

3 教育相談研修会

趣 旨 不登校の児童生徒の自立を支援するために、関係者が連携を密にして、よりよい指導・援助の充実を目指す。

研修会

51 ●生活相談員・教育相談員研修会

12回（毎月1回）

52 ●生活相談員・教育相談員・学校教育相談担当者研修会

3回（4/26 9/27 1/18）



児童生徒対象

| | 名 称 | 内 容 | 月 日 |
|----|--------------------|--|------------------------|
| 61 | 夏休み作品相談 | 電話で相談を受け付け、専門教諭が助言にあたることによって作品の向上を目指す。 | 夏季休業中 |
| 62 | 夏休み作品表彰式 夏休み作品展 | 優れた作品の表彰を行うと共に作品展示を行い、教科学習の促進を図る。 | 表彰式：9/10 展示：9/10～12 |
| 63 | 夏休み作品づくり | テーマを決めて作り方を工夫し、楽しい作品を作る。 （新聞切り抜き作品） | 7/22 |
| 64 | 小学校陸上記録会 | 小学校児童の陸上競技への関心と記録向上への意欲を高める。 | 10/ 8 |
| 65 | 小中音楽会 | 音楽表現（合唱）を聴き合うことを通して、音楽活動への意欲を高める。 | 中：11/ 9 小：11/10 |
| 66 | こどもの市展 | 作品（図工・美術・書写）のもつよさや美しさにふれ、表現意欲を高める。 | 11/18～23 |
| 67 | 山びこ | 体験したことや考えたことなどを書き表し、伝える力を身に付ける。 | 随時 |



共通物品

| | |
|----------------|--|
| 教材教具 | 和太鼓（8台） |
| 教育機器 | 大型インクジェットプリンター「カラー A1ノビ」（1台） ノートパソコン プロジェクター スクリーン |
| 諸検査用具 | WISC-III（知能検査器具・知能検査記録紙） WISC-IV（知能検査器具・知能検査記録紙） グッドイナフテスト 箱庭療法用具 S-M社会生活能力検査用紙 |
| VTR DVD | ●人権教育・・・「歌いたい歌がある」「ラストから始まる」 ●薬物乱用防止教育・・・「DRUG」「薬物乱用教育」 ●学校給食衛生管理・・・「ドライ運用の鍵は人」 ●家庭教育・・・「すばらしき思春期」「ゆっくり、ゆったり」 「子どもとしつけ」「頑張れ、お父さん」 「家庭教育手帳」「家庭教育ノート」 「ママとパパに贈るメッセージ」 「子どもの声に耳をすませて」 「地域こぞって子育てを」 など |
| 教科用図書 | 小中学校の検定教科書（各社） |
| 児童用図書 | 大型絵本など |
| ゲームなど | 屋内用ペタンク グランドゴルフ もちつき用具（臼、杵） 焼き杉用具 大鍋 ペタンク キャンドルサービス用具 など |

センター職員

| | |
|-------------|-------|
| 所長（学校教育課長） | 早川 剛 |
| 次長 | 山田 光昭 |
| 主任教育相談員 | 林 和子 |
| 主任学習支援員 | 戸崎 徳子 |
| センター係長（事務） | 高屋 重義 |
| 主幹（学校教育課） | 日置 智夫 |
| 課長補佐（学校教育課） | 山口 正尊 |
| 係長（学校教育課） | 横山 直美 |
| 主幹（生涯学習課） | 水谷 勝彦 |
| 主任（生涯学習課） | 臼井 規浩 |
| 体育協会事務局 | 和田 全弘 |

教育相談員（中学校『教育相談室』）

（高富中）井藤 康子・鷺見 顕、（美山中）神谷 愛子

生活相談員（適応指導教室『コスモス』）

村橋 一成・岩間 伸浩・村瀬 文・服部 紀子

沿革

- | | |
|--------|--|
| 平成15年度 | ●山県市教育センター設置 |
| 平成16年度 | ●センター次長配置 ●相談員と学校担当者の合同連携研修会発足 ●山県市生涯学習リーダー登録者名簿発刊 ●センター広報誌『いしずえ』初版発行 |
| 平成17年度 | ●新規15事業開設 |
| 平成19年度 | ●事業の整理統合、新規2事業（学校教育） |
| 平成20年度 | ●事業の整理統合、新規7事業（教職員研修） |
| 平成21年度 | ●学校地域支援本部との連携 |
| 平成22年度 | ●センター移転（旧富波小へ） ●適応指導教室『コスモス』統合 ●大研修室にエアコン設置 |
| 平成23年度 | ●主任教育相談員、主任学習支援員配置 ●2階研修室にエアコン設置 |
| 平成28年度 | ●山県市体育協会事務局を教育センターに配置 |



山県市教育センター

〒501-2257 岐阜県山県市富永495番地
TEL. 0581-52-1007
FAX. 0581-51-0030
E-mail. k-center@yamagata-gifu.ed.jp

